

LifeKeeper for Linux v9.5.2
Single Server Protection for Linux v9.5.2
テクニカルアップデートインフォメーション

第1版



目次

はじめに	4
LifeKeeper for Linux v9.5.2の新機能・機能変更	4
■CLIの更なる機能強化	4
■スタンバイノード監視機能の強化	4
LifeKeeper for Linux v9.5.2の新規サポートOS・ソフトウェア・環境	4
LifeKeeper for Linux v9.5.2において修正された重要な不具合	5
Single Server Protection での相違点	5
Single Server Protection v9.5.2の新規サポートOS・ソフトウェア	5
Single Server Protection for Linux v9.5.2において修正された重要な不具合	6
SIOS DataKeeper for Linux とカーネルの問題	7
お問い合わせ	7
免責事項	7
著作権	8

改訂履歴

日付	バージョン	変更情報
2021/7/27	001	新規作成

1. はじめに

本文書ではLifeKeeper for Linux v9.5.2 / Single Server Protection for Linux v9.5.2の新機能や機能変更、また、重要なバグ修正に関する概要をまとめたものです。それらに関する詳細な情報につきましては、リリースノートやオンラインマニュアルをご確認いただくか、ご契約の製品サポートにお問い合わせください。

2. LifeKeeper for Linux v9.5.2の新機能・機能変更

■CLIの更なる機能強化

v9.5.0から提供してきた機能強化されたCLI機能ですが、本バージョンではSAPやWebsphere MQなど、複数のRecovery Kitにおいて新たに拡張されたCLIが利用できるようになりました。詳しくは、オンラインドキュメントをご参照ください。

■スタンバイノード監視機能の強化

v9.4から提供してきたスタンバイノード監視機能ですが、本バージョンではNASやマルチパス RKIにおいても利用できるようになりました。詳しくは、オンラインドキュメントをご参照ください。

3. LifeKeeper for Linux v9.5.2の新規サポートOS・ソフトウェア・環境

新規にサポートされたOS、ソフトウェア、環境は以下の通りです。

[サポートOSの追加]

- Red Hat Enterprise Linux 8.4
- Oracle Linux 8.3
- CentOS 8.3
- Oracle Linux 7 UEK R6(*)
- Oracle Linux 8 UEK R6(*)
- SAP HANA support for RHEL 8.2
- SAP HANA support for SLES 15.2
- WebSphere MQ 9.2 for RHEL 7.9, 8.3

以下のOSは v9.5.1 で追加サポートされています。

- Red Hat Enterprise Linux 7.9, 8.3
- Oracle Linux 7.9
- CentOS 7.9
- SAP HANA support for RHEL 8.1
- SAP HANA support for SLES 12.5

* UEKIについては、カーネルバージョンが5.4.17-2102.202.5 以降のものに限ります。

[サポートソフトウェアの追加]

- MariaDB 10.5

以下のソフトウェアは v9.5.1 で追加サポートされています。

- PostgreSQL 13
- EDB Postgres Advanced Server 13.0
- FUJITSU Software Enterprise Postgres 12
- SAP HANA2 SP5
- SAP S/4HANA 2020

[サポート環境の追加]

- スタンバイノードヘルスチェックプローブに応答する機能の追加
Microsoft Azure の Load Balancer、Google Cloud Platform の Cloud Load Balancing を利用した構成に対して、任意のポートでスタンバイノードヘルスチェックプローブに応答する機能を追加しました。

4. LifeKeeper for Linux v9.5.2において修正された重要な不具合

より詳細な不具合に関する情報は、リリースノートでご確認ください。ここではお客様にとって有意と思われる不具合修正情報についてご案内します。

Bug id	対象	Description
#4317	DataKeeper	お客様がシステムをスナップショットからロールバックしたとき、DataKeeper が再同期を行えない問題を修正しました。
#4318	Core	システムがビジー状態であるとき、誤った通信障害の通知が発生してしまう問題を修正しました。
#6617	Quorum	Quorumとフェイルオーバーの処理が競合し、スプリットブレインが発生してしまう問題を修正しました。
#6847	Quorum	Quorumサーバーが、ISPであるリソースを誤って判断してしまう問題を修正しました。
#9056	Core DataKeeper	ディスクリソースのIDが不適切に設定される問題を修正しました。これにより、v9.5.2にアップグレードするとdisk、device、netraidリソースのIDが変わることがあります。

5. Single Server Protection での相違点

今回のv9.5.2リリースにおいて、大きな変更点は「CLIの機能強化」、「スタンバイノード監視機能の機能強化」の2点となります。また、CLIの機能強化において拡張されたCLIは本バージョンよりSingle Server Protectionでも利用できるようになりました。詳しくは、オンラインドキュメントをご参照ください。

6. Single Server Protection v9.5.2の新規サポートOS・ソフトウェア

新規にサポートされたOS、ソフトウェア、環境は以下の通りです。

[サポートOSの追加]

- Red Hat Enterprise Linux 8.4
- Oracle Linux 8.3
- CentOS 8.3
- Oracle Linux 7 UEK R6(*)
- Oracle Linux 8 UEK R6(*)
- SAP HANA support for RHEL 8.2
- SAP HANA support for SLES 15.2
- WebSphere MQ 9.2 for RHEL 7.9, 8.3

以下のOSは v9.5.1 で追加サポートされています。

- Red Hat Enterprise Linux 7.9, 8.3
- Oracle Linux 7.9
- CentOS 7.9
- SAP HANA support for RHEL 8.1
- SAP HANA support for SLES 12.5

* UEKIについては、カーネルバージョンが5.4.17-2102.202.5 以降のものに限ります。

[サポートソフトウェアの追加]

- MariaDB 10.5

以下のソフトウェアは v9.5.1 で追加サポートされています。

- PostgreSQL 13
- EDB Postgres Advanced Server 13.0
- FUJITSU Software Enterprise Postgres 12
- SAP HANA2 SP5
- SAP S/4HANA 2020

7. Single Server Protection for Linux v9.5.2において修正された重要な不具合

より詳細な不具合に関する情報は、リリースノートでご確認ください。ここではお客様にとって有意と思われる不具合修正情報についてご案内します。

Bug id	対象	Description
#4318	Core	システムがビジー状態であるとき、誤った通信障害の通知が発生してしまう問題を修正しました。
#9056	Core	ディスクリソースのIDが不適切に設定される問題を修正しました。これにより、v9.5.2にアップグレードするとdisk、deviceリソースのIDが変わることがあります。

8. SIOS DataKeeper for Linux とカーネルの問題

いくつかの Linux リリースで Linux Kernelのmd/raid1カーネルモジュールに起因する不具合が見つかりました。v9.5.2リリースではこの不具合対応として修正ドライバを同梱しています。この不具合では、DataKeeperの部分再同期が行われた場合に、Target側(待機側)のデータに破損が生じる可能性があります。

この不具合はカーネルに起因するものですが、ご提供する修正ドライバは DataKeeper 製品の一部として弊社にてサポートいたします。

また、我々の調査結果および修正内容をLinux Kernel開発コミュニティに提供し、カーネル側が正式にこの問題を修正できるよう協力いたしました。コミュニティ版の Linux kernel では v5.13 で修正されています。また、各ディストリビューションで提供されるLinux kernel においても、以下のリリースで同等の修正が行われたことを確認しています。

- Red Hat Enterprise Linux 8 : 4.18.0-305.3.0
- SUSE Linux Enterprise Server 12 SP 5 : 4.12.14-122.74.0
- SUSE Linux Enterprise Server 15 SP 2 : 5.3.18-24.67.1
- Oracle Linux 7 UEK5 : 5.3.18-24.67.1

現時点で確認できていないこれ以外のディストリビューションについては、修正を確認後随時ユーザーサイトにて公開します。

9. お問い合わせ

本ドキュメントの記載内容について、疑問点等がある場合は弊社サポート窓口までお問い合わせください。なお、お問い合わせの一次窓口が弊社ではない場合があります。サポート証書にてサポート窓口を確認のうえ、適切な窓口にお問い合わせください。

<http://www.sios.com/products/bcp/lkdk/contact/>

10. 免責事項

- 本書に記載された情報は予告なしに変更、削除される場合があります。最新のものをご確認ください。
- 本書に記載された情報は、全て慎重に作成され、記載されていますが、本書をもって、その妥当性や正確性についていかなる種類の保証をするものではありません。
- 本書に含まれた誤りに起因して、本書の利用者に生じた損害については、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。
- 第三者による本書の記載事項の変更、削除、ホームページ及び本書等に対する不正なアクセス、その他第三者の行為により本書の利用者に応じた一切の損害について、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。
- システム障害などの原因によりメールフォームからのお問い合わせが届かず、または延着する場合がありますので、あらかじめご了承ください。お問い合わせの不着及び延着に関し、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。

11. 著作権

本書に記載されているコンテンツ(情報・資料・画像等種類を問わず)に関する知的財産権は、

サイオステクノロジー株式会社に帰属します。その全部、一部を問わず、サイオステクノロジー株式会社の許可なく本書を複製、転用、公衆への送信、販売、翻案その他の二次利用をすることはいずれも禁止されます。またコンテンツの改変、削除についても一切認められません。本書では、製品名、ロゴなど、他社が保有する商標もしくは登録商標を使用しています。